

講座参加報告

市民活動エンパワメント連絡会主催 オープン学習会

講演テーマ：なぜ「ごく普通」の若者が凶悪犯罪に手を染めるのか？
～『ルポ特殊詐欺』～

日時：2024年7月9日(火) 14:00～15:30

講師：田崎 基 氏（神奈川新聞社 報道部デスク）



田崎 基氏

遠く離れた場所で起きた強盗事件がつながり、広域強盗事件として大きく報道された「ルフィ広域強盗事件」は世間に衝撃を与えました。実行犯が20人以上逮捕され、主犯格はフィリピンからSNSを使って指示していたという、この事件の構図はこれまでからは想像もできない「新たな犯罪」の登場ともいえます。しかも、実行役の多くはSNSや求人サイトで勧誘された「ごく普通の若者」であったというのも大きな驚きでした。

『ルポ特殊詐欺』の執筆者である田崎基氏から、これらの犯罪の背景や私たちの社会がどう向き合うのかなどをお聴きしました。

トクリュウ【匿名・流動型犯罪組織】－ SNSや求人サイト等を利用して実行犯を募集する手口で、特殊詐欺等を広域的に敢行する集団－ こういった犯罪グループは違法に得た資金を基にさらなる違法活動に進出しています。ここで実行役として使われる若者は、「求人」（割の良いバイト）の感覚で応募したものの、実際には犯罪に手を染めることとなります。履歴書も指示も現在地の把握などもSNS上。情報を犯罪組織に握られ、気づいた時には抜け出せなくなる構図になっています。実行役の若者も加害者であっても、アリ地獄にはまった被害者でも

ある側面が見えます。

通信など技術の進歩を悪用して進化する犯罪の罠に私たちはどう向き合うのか、罠に落ちていく若者を止めることができるのか、決して他人事と冷めて見ることではないと考えさせられました。田崎氏は、犯罪に入る前、入口のフォローが今の社会には足りない、社会の中で『包含』していくこと、仲間外れを作らず一人ひとりに居場所を与えられることが重要と話されました。

協会の就労支援を受ける若者のなかにも、「生きていて初めて『ありがとう』と言われた」などと話す人がいます。一人ひとりの存在を受け止めて『共に暮らす・働く』社会をめざす協会の活動の意義を改めて感じています。
(よしだ みさこ)

